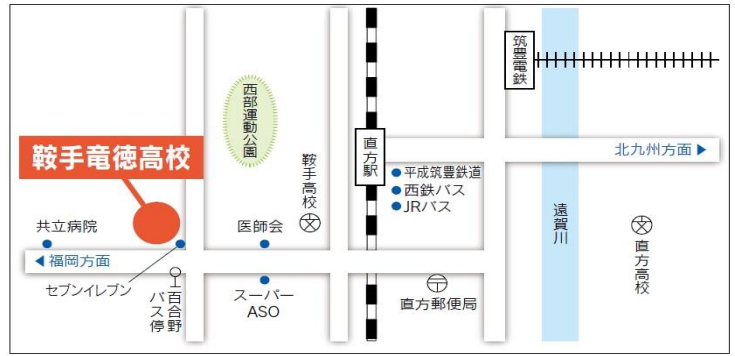




福岡県立 鞍手竜徳高等学校

所在地 福岡県宮若市龍徳161番地
〒823-0001
電話番号 0949-22-0466
FAX番号 0949-22-1632
ホームページ <http://kurateryutoku.fku.ed.jp/>
交通機関 JR直方駅からJR九州バス
福丸方面百合野バス停下車 徒歩1分



1 在籍者数 (令和2年5月1日現在)

課程	学科	1年次生		2年次生		3年次生		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女
全日制	総合学科	119	34	62	34	80	23	261	91

2 本校の特色

(1) 校訓 「至実明練」・「同窓異彩」

本校は、平成15年4月に総合学科高校として新たなスタートを切り、総合学科の特色である、普通教育・専門教育の両方を選択し履修することができるカリキュラムを生かして、勉学・部活動・学校行事等、活発な活動を行っています。21世紀の社会の変化に主体的に対応できる社会人、産業人の育成を目指しています。

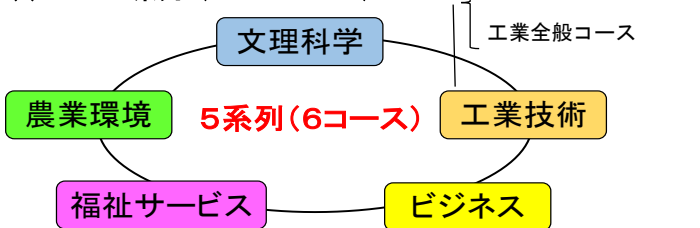
(2) 本校総合学科の特色

「総合学科」は次のような特色を持っています。

単位制	⇒	3年間で必要な単位を修得すれば卒業
キャリア教育	⇒	キャリア教育の充実 (3年間で8単位)
少人数指導	⇒	生徒の興味・関心や習熟の程度等にきめ細かく対応

3 教育課程

(1) 5つの系列(6つのコース)



希望進路に応じて選択できる科目を分野別にまとめた「系列」を5つ準備しています。

更に、「工業技術系列」は、「自動車製造関連コース」と「工業全般コース」の2つに分かれており、全体として6コースに分かれて学習を行います。

専門科目20単位以上取得すると、大学入試における「総合学科枠」での推薦入試受験が可能となります。

(2) 自分で作る自分の時間割

生徒自身の進路目標に応じて、5系列(6コース)から科目を選択すると共に興味・関心に応じて自由選択科目からも選択することができます。

(3) 進路実現に向けたキャリア教育の充実

進路実現に向け、1年次に全員が学ぶ「産業社会と人間」で、将来の夢を見つけるためのガイダンスを充実させ、2・3年次では「総合的な学習の時間」、全学年の「キャリア形成」を通して、一人一人の進路についての学習を積極的に支援します。また、進路選択や進路実現に向けた学習計画作成のためのきめ細かな指導(ガイダンス)を行う体制を整えています。

4 学校行事・部活動

(1) 令和2年度学校行事(感染症対策により変更あり)

- 4月 自立と協働を学ぶ体験活動(1年次)
- 6月 体育祭 7月 土曜セミナー(3年次)
- 7月 インターンシップ(2年次)
- 11月 竜徳祭 12月 総合学科発表会
- 1月 修学旅行(2年次)

(2) 部活動

体育部8部、文化部14部があります。陸上競技部は全国大会出場9回、硬式野球部やバレーボール部、柔道部、卓球部は近年県大会の実績を残していません。また、吹奏楽部や和太鼓部など文科系部活動も活発で、多くの部活動が日々練習に励んでいます。

5 進路情報

(1) 進学

- 【国公立大学】北九州市立大学
- 【私立大学】九州共立大学、九州国際大学、九州女子大学、九州産業大学、至誠館大学、西日本工業大学、日本経済大学、福岡大学
- 【私立短大】福岡工業大学短期大学部、九州産業大学造形短期大学、九州女子短期大学、東筑紫短期大学、福岡こども短期大学
- 【専門学校】麻生公務員専門学校、麻生情報ビジネス専門学校、大原簿記公務員専門学校、北九州自動車大学校、九州医療スポーツ専門学校、KCS北九州情報専門学校、専門学校麻生看護大学校、直方看護専修学校、中村調理製菓専門学校、宗像看護専門学校、八幡医師会看護専門学院など

(2) 就職

- 【公務員】福岡県職員(Ⅲ類)教育行政・行政事務、刑務官(刑務A九州)、福岡県警察本部、鞍手町役場、直方・鞍手広域市町村圏専務組合消防本部、陸上自衛官一般曹候補生
- 【一般企業】一番食品、ウチダ、大分キャノン、九州小島、九州住友ベークライト、コゲツ産業、コスモス薬品、沢井製薬、山九八幡支店、JFEスチール、ジェイデバイス、ダイクレ九州金属、太平洋工業、ダイハツ工業、タカラスタンダード、タニミズ企画、トッパンパッケージ、トヨタ自動車、トヨタ自動車九州、トヨタ福岡、日産自動車九州、日産自動車車体、日本製鉄君津製鉄所、日本フィルター工業、日本ポディーパーツ工業、ハヤテ九州、フジクリーン工業、三井ハイテック、もち吉、森田あられなど

6 学校からのメッセージ

「夢を紡ぎ、希望を織る」をキャッチフレーズに、様々なことにチャレンジし、将来の進路実現と社会人として活躍できる人材育成を目指した教育活動を行っています。中学生の皆さん、私たちと一緒に新しい高校の伝統を創りませんか。